

地域創造科目

Yokohama National University Graduate sub-major program
Creative education program about local problems

シラバス 2022
2022 Syllabus

YOKOHAMA

最新の詳細情報は下記サイトをご確認ください。
<https://www.chiki-ct.info/sozo>

オリエンテーション
4月14日(木)
12:10-12:50



修了者からのメッセージ

Shunnosuke NAGASE
長瀬 駿之介

理工学府 機械・材料・海洋系工学専攻
海洋空間システムデザインユニット
航空宇宙工学教育分野

- コア科目： 地域創造論
- 専門型関連科目： 沿岸域管理の法制度
海洋政策と法制特論
リスクマネジメントと社会技術
リスク社会とコミュニケーション
- 実践型関連科目： 人文地理学演習 I



「自身の専門(航空宇宙・ドローンシステム)を、ローカルな社会課題解決に活かしていく力を身につけたい」という想いから、地域交流科目(学部)・地域創造科目(修士)を受講させて頂きました。地域創造科目では、社会課題へのアプローチ手法に関する具体例を通じた実践的なレクチャーを受講することができ、バックグラウンドの異なるメンバーと共に地域課題の調査から解決まで、一連のプロセスを実践する協同ワークを経験できました。そして、副専攻プログラムの履修を通して、「専門の講義だけでは習得できない統合的な視野」と、「それに基づきつつ自身の専門性を活かしていく実践的な課題解決力」を身につけることができました。

ブックレット HP (<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>)からダウンロードできます。

地域創造論 Vol.3

～地域はどう変わるか 2010年代から2020年代に向かって～

大学院の副専攻プログラムのコア科目として開講されている「地域創造論」の、2018年から2020年度のテーマは、「地域はどう変わるか 2010年代から2020年代に向かって」でした。本著は、その講義録をまとめたものです。



地域はどう変わるか
2010年代から
2020年代に向かって

政策科学と政策形成 小池 治 / 持続可能な都市とモビリティシステムー COI プログラムによる横浜国立大学の取り組みー 有吉 亮・西岡 隆暢 / 都市におけるエネルギーリテラシー 濑谷 忠弘 / フラットで双方向的な世界へ：「地域間協力(連携)」の構想と取り組み 佐藤 峰・奥井 利幸 / 震災とコミュニティ-大熊町を事例として- 吉原 直樹 / SDGs 未来都市・横浜の挑戦と「ヨコハマ SDGs デザインセンター」のこれから 信時 正人 / 2035年に当たり前に木材のある社会を目指して 井上 博成 / 2020年代に向けた大学と地域～羽沢横浜国大駅開業を前に 高見沢 実 / 2020年代に向けたヘリテージマネジメントの課題 大野 敏 / 地域創造とEBPM～森林の多面的機能を事例に～ 小池 治 / SDGs 達成に向けた県の施策形成 清水 信宏 / 地域経済とまちづくり(ディスカッション) 氏川 恵次・池島 祥文・伊集 守直・志村 真紀 / モビリティ～Maas+デジタル化による地域像+コロナ～ 中村 文彦 / エネルギー環境と都市(ディスカッション) 吉田 聡・野原 卓・田中 稲子 / 新型コロナと都市計画：「新近郊」論に向かって～新型コロナ感染後の新たな社会を展望する～ 高見沢 実

『地域創造科目』の概要

全体概念

現代社会において、経済格差や教育格差の拡大、工業倫理の低下や環境問題の深刻化など、住民生活の継続や地域社会の存続に支障をきたし始めています。これらの諸課題は複雑に関連しつつ、事態を深刻化させていることから、社会、教育、工学、環境など各視点から諸課題を検討し、人々が安心して豊かな生活を営めるような地域を創造することが求められています。

本プログラムは、複雑で解決困難な地域課題に対して、各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながらも、学際的な課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できるような人材を育成するための高度な教育プログラムです。

General overview

In modern society, issues such as the increase of economical and education gaps, decrease in industrial ethics and intensification of environmental problems are beginning to interfere with the sustainability of local residents' lifestyles and continued existence of the local community. These various issues are complexly interwoven with one another, intensifying the situation and as such, need to be investigated from individual aspects such as society, education, engineering, the environment and so forth, in order to create a community in which people can lead rich lives with peace-of-mind.

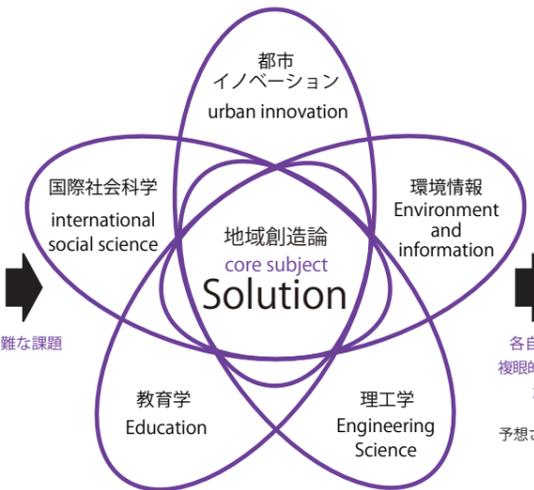
Towards complex, intractable community issues, this program takes a theoretical approach from the individual fields of expertise, and is a sophisticated educational program which aims to produce individuals who possess the ability to appraise issues from an interdisciplinary approach and propose comprehensive solutions.

*副専攻プログラムとは：

知識基盤社会が求める総合性・学際性への対応、また学生からのニーズへの対応として、自ら所属する専攻以外の分野を系統的に学習するプログラムです。

*About sub-major program:

Responding to the comprehensive and interdisciplinary abilities sought by a knowledge-based society as well as responding students' needs, this program enables the systematic learning of fields other than one's own affiliated major.



Problem → 地域における複雑で解決困難な課題

→ Vision

各自の専門性を活かしながら、複眼的な視野で地域のビジョンを創造できる力をつける。

- 予想される将来の進路・人材像
- ・国内外 行政関係
 - ・コンサルタント
 - ・建築家
 - ・まちづくり、NPO
 - ・地域プロデューサー
 - ・研究者、教員
 - ・会社経営者

各専門領域に基盤を持ち理論的に問題を捉えながら、学際的に課題把握能力を有し、かつ総合的に解決できる力をつける。

複雑で解決困難な地域課題を題材に

各専門分野の活かし方を発見し開拓するプログラム

This program trains students to find and develop their own specialties in the local subject in which solutions are complicated and difficult.



問合せ・連絡先：
地域実践教育研究センター
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-3
横浜国立大学 経済学部1号館 406号室
TEL&FAX : 045-339-3579
chiki-ct@ynu.ac.jp
<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>

「履修申請の流れ」

「オリエンテーション」 4月14日(木) 12:10-12:50
 オンライン+対面(併用)による実施。
 対面: 建築学棟(N5-3棟) 1F 大会議室
 地域創造科目の説明・相談を行います。
 履修する予定の人、関心・質問がある人は参加して下さい。
 詳しくは下記サイトの情報をご確認ください。
<https://www.chiki-ct.info/sozo>

「履修登録」

- ・必修コア科目「地域創造論」
- ・関連科目(各自が在籍する学府・研究科の開講科目から基本的には選択する。*)

*注: 関連科目の履修にあたり、提供形態①の科目については、当該科目担当教員の許可は必要ありません。(ただし、履修者が多い場合は制限する可能性があります。なお、自分が所属する学府・研究科以外の科目を履修する場合は、所属する学府・研究科での手続きが必要な場合があります。(履修案内等で確認してください。))

地域創造科目「参画登録申請」フォームへの申請

申請書メチ: 4月11~22日 or 10月3~24日

☆副専攻プログラムとして受講し、修了認定を得る場合には、地域創造論が始まる前に下記の申請が必要です。

「参画登録申請」フォームについては、下記の地域実践センターのWEBサイトにリンクされています。
<https://www.chiki-ct.info/sozo>
<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp/education>

「地域創造科目」8単位以上

『地域創造科目』は、「参画登録申請」を申請した者を対象に、下記の修了要件を満たした者に対して、修了認定が行われます。

修了要件: ①必修コア科目「地域創造論」2単位、②「関連科目」の「専門型関連科目」2科目以上4単位以上、および「実践型関連科目」1科目以上2単位以上、これらの合計8単位以上。

必修コア科目	+	関連科目	→	修了証
地域創造論 1科目2単位 *重複不可		専門型関連科目 2科目4単位以上 実践型関連科目 1科目2単位以上		副専攻プログラム 地域創造

・主専攻のカリキュラムに掲載されている副専攻科目は主専攻の卒業要件に含むことができます。ただし都市イノベーション学府の学生が「地域創造論」を本副専攻の科目として履修した場合は主専攻の卒業要件に含むことができません。
 ★都市イノベーション学府の学生: 修了必要単位 30単位+2単位(地域創造論)=計32単位の取得が必要です。
 ☆都市イノベーション学府以外の学生: 各学府・研究科の修了必要単位の中に地域創造論2単位を含めてください。

「修了認定」

- ・副専攻の修了証は「参画登録申請」を申請した方を対象に、修士課程2年の修了時に修了認定がされます。
- ・必要単位の取得状況は、修了式前の時期に事務局が学務を通じて確認します。
- ・短縮卒業や留年後の卒業、長期履修制度による卒業など、卒業時期が通常と異なる場合には卒業3ヶ月前までに地域実践教育研究センターにお知らせください。
- ・成績証明書の特記事項欄には「副専攻プログラム(地域創造)修了」と記載されます。

・実践型関連科目を「その他」の「独自に参画する実践性の高い活動」で単位認定を受ける場合は、(様式2)地域創造科目 実践型関連科目「その他」認定申請書と、活動内容について記した「レポート(A4版1枚ほど)」の提出が必要です。様式2の申請書はWEBサイトからダウンロードしてください。

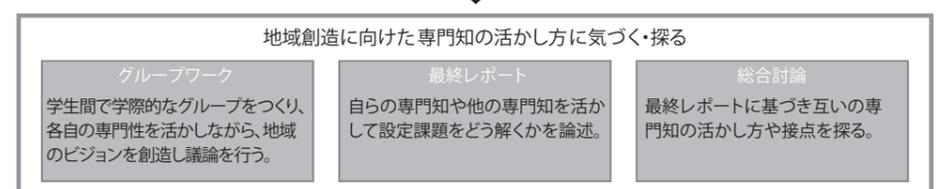
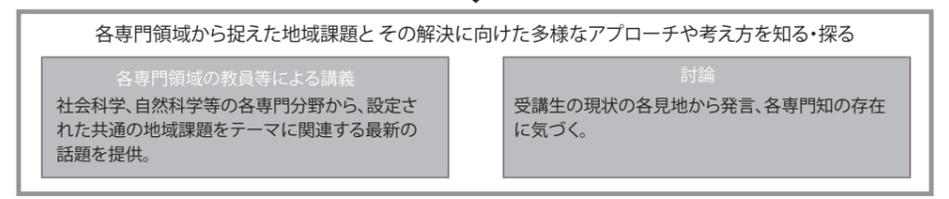
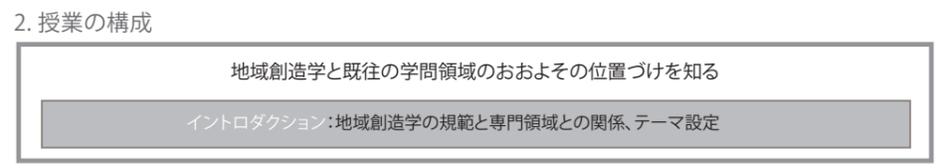
レポートの提出メチ: 8/26(9月修了の場合) 2/16(3月修了の場合)

*提出先: 地域実践教育研究センター(chiki-ct@ynu.ac.jp)

コア科目「地域創造論」

*秋学期に開講
月曜日4限

1. 授業の目的
 複雑で解決困難な地域課題を創造的に解決する方法を開拓する。
 地域創造学を既往の学問領域の中で位置づけたうえ、本講義の構成・内容、およびグループワークの方法等につき解説する。これを受けて、各専門領域から現代の地域課題をどうとらえているか、また、その解決に向けたアプローチや考え方はいかなるものか等につき、事例や先進的試み等を織り交ぜながら講義する。その後、専門の違う者同士でグループを組み、与えられた地域課題をめぐって現地スタディー、データ分析、ディスカッション等を行う。成果は最終回に発表し、総合討議を行なう。



講義の様子



グループワークの様子

部局	単位数	時間割コード	科目名	教員名	開講学期・(ターム)	曜日	時限	教室/開催方法	提供形態	カテゴリ	備考
都市	2	RA00009	地域・都市環境管理論	佐土原 聡	春期(第1.2)	火	2	教室調整中/対面	①	専	R4休講
都市	2	RA00033	持続型集住計画論	藤岡 泰寛	春期(第1.2)	金	2	教室調整中/対面	①	専	R4休講
環境	1	H220074	環境イノベーション論Ⅰ	-	第1ターム	火	4	遠隔	①	専	R4年度休講
環境	1	H220085	環境イノベーション論Ⅱ	-	第2ターム	火	4	遠隔	①	専	(H29年度以前入学者は「EM57118 イノベーションと環境マネジメント」を履修すること)
環境	2	EM57118	イノベーションと環境マネジメント	-	秋期(第4.5)	金	4	遠隔	①	専	
園社	2	PC11525	開発協力論研究Ⅲ	小林 啓明	秋期(第4.5)	木	3		①	専	R4年度休講
都市	4	RPSJ206	環境都市デザインスタジオF	野原 卓、他	秋期(第4.5)	火・金	3~4	教室調整中/対面	③	実	
都市	4	RPSJ217	都市基盤環境創造スタジオS	前川 宏一、他	春期(第1.2)	火	6	教員室/対面	③	実	H29年度以前入学者対象
都市	4	RPSJ218	都市基盤環境創造スタジオF	前川 宏一、他	秋期(第4.5)	火	6	教員室/対面	③	実	H29年度以前入学者対象
環境	2	EM57115	共生社会創生論	安藤 孝敏	秋期(第4.5)	月	2	遠隔	①	専	
環境	2	EM57119	ライフサイクル・アセスメントと持続型社会	本藤 祐樹	春期(第1.2)	水	2	総S511	①	専	
環境	2	EM57120	地域イノベーション論	遠藤 聡	秋期(第4.5)	火	3	総S511	①	専	

「地域創造科目」一覧

・カテゴリ: 必=必修科目 / 専=専門型関連科目 / 実=実践型関連科目
 ・提供形態: ①すべての大学院学生が履修可能な授業科目 / ②すべての大学院学生が履修可能な授業科目であるが、履修するための前提条件が付された授業科目 / ③所属大学院学生のみが履修可能な授業科目

部局	単位数	時間割コード	科目名	教員名	開講学期・(ターム)	曜日	時限	教室/開催方法	提供形態	カテゴリ	備考	
大学院共通	2	9GC2101								必		
	2	RC00060	地域創造論	高見沢 実	秋期(第4.5)	月	4	対面or遠隔	①	専		
	2	UC07008									<学部4年次履修可>	
	2	9GC1101	統合的海洋管理学Ⅰ	村井 基彦、他	春期(第1.2)	月	4	対面or遠隔	①	専		
	2	9GC1102	統合的海洋管理学Ⅱ	村井 基彦、他	秋期(第4.5)	月	4	対面or遠隔	①	専		
	2	9GC1201	沿岸域管理の法制度	加々美 康彦	春期集中			対面or遠隔	①	専		
	2	9GC1202	海洋政策と法制特論	中原 裕幸	秋期(第4.5)	水	2	対面or遠隔	①	専		
	2	9GN1201									<学部4年次履修可>	
	2	NA30114	リスクベースによる規制制定手法	吉田 公一、他	秋期(第4.5)	金	4	遠隔	①	専	工学府・理工学府所属学生は学府コードを使用	
	2	GB20116									先進実践学理所属学生は学環コードを使用	
	1	UC05023	リスクベースによる規制制定手法Ⅰ	岡田 哲男、他	第4ターム	金	4	遠隔	①	専		
	1	UC05024	リスクベースによる規制制定手法Ⅱ	岡田 哲男、他	第5ターム	金	4	遠隔	①	専		
	2	9GN1202	海洋産業特論	高品 純志	春期(第1.2)	火	4	海洋302	①	専	<学部4年次履修可>	
	2	NA30121						海洋302	①	専	理工学府所属学生は学府コードを使用	
	2	9GC3201										
	2	N000171	神奈川県を取り組む技術課題	為近 恵美	秋期(第4.5)	水	3	遠隔	②	専		
	2	GB10150										
	2	UC12015	神奈川県を取り組む技術課題	為近 恵美	秋期(第4.5)	水	3	遠隔	②	専		
	2	9GC4101	リスクマネジメントと社会技術	竹花 立美、他	秋期(第4.5)	金	4	環境1-305	①	専	リスク共生社会創造センター開講	
	2	9GC4201	リスク社会とコミュニケーション	熊崎 美枝子	春期(第1.2)	集中		遠隔	①	専		
2	9GP0201									国際社会科学府開講		
2	PAB4015	地域経済政策特論	居城 琢	秋期(第4.5)	水	2	遠隔	①	専	国際社会科学府所属学生は学府コードを使用		
2	UC08034									先進実践学理所属学生は学環コードを使用		
国際社会科学	2	PAB4012	地方財政学	伊集 守直	春期(第1.2)	金	2		①	専	学環時間割コード: UC08029、UC08030	
	2	PAB4019	農業政策特論	池島 祥文	秋期(第4.5)	火	2		①	専	学環時間割コード: UC08040	
	2	PC12027	社会保険法研究Ⅰ	関ふ佐子	春期(第1.2)	木	2		①	専		
	2	-	民事訴訟法特論	西川 佳代	秋期(第4.5)	火	3		①	専	R4年度は先進実践学理所属学生のみ履修可能(国社: 奇数年度開講)/学環時間割コード: UC10009、UC10010	
	2	PC12326	高齢者法研究	関ふ佐子	春期(第1.2)	火	2		①	専	学環時間割コード: UC11015、UC11016/旧科目「基本社会保障法研究」からの互換。	
	2	-	倒産・執行法研究Ⅰ	西川 佳代	春期(第1.2)	火	3		①	専	R4年度は先進実践学理所属学生のみ履修可能(国社: 奇数年度開講)/学環時間割コード: UC10011、UC10012	
	2	PB22006	生態会計特論	八木 裕之	春期(第1.2)	月	3		③	専	学環時間割コード: UC04001、UC04002	
	2	PC11023	開発協力論研究Ⅰ	小林 啓明	春期(第1.2)	木	3		①	専	学環時間割コード: UC09025、UC09026	
	2	PC11024	開発協力論研究Ⅱ	小林 啓明	秋期(第4.5)	火	3		①	専	R4年度開講(偶数年度開講)、学環時間割コード: UC09027、UC09028	
	2	-	演習Ⅰa(対象は特定教員の6クラス)	各教員					③	実	学府の許可する学生のみ受講可能とする	
	2	-	演習Ⅰb(対象は特定教員の2クラス)	各教員					③	実		
	理工学	2	NB20151	リスク分析論	陶山 貢市、他	春期(第1.2)	火	3		①	専	
		2	NB10031	触媒化学	窪田 好浩、他	春期(第1.2)	木	5	理工A-108	③	専	(隔年開講でR4年度は開講)
	2	NB20114	エネルギー/リニューエナジシステム概論	妻倉 良啓	秋期(第4.5)	金	1	エネ-501	①	専	実施方法検討中	
	環境情報	1	H320094	生態リスクと社会的合意	松田 裕之	第4ターム	金	3	1-306	①	専	学環時間割コード: UC06004
		1	H320331	環境法Ⅰ	及川 敬貴	第1ターム	木	3	未定	①	専	学環時間割コード: UC06017
		1	H220174	地域発展政策Ⅰ	遠藤 聡	第4ターム	火	3	総S511	①	専	学環時間割コード: UC08089
		1	H220185	地域発展政策Ⅱ	遠藤 聡	第5ターム	火	3	総S511	①	専	学環時間割コード: UC08090
		1	H320072	ユネスコエコパークや関連制度を活用した環境共生型地域の創出	酒井 暁子	第2ターム	水	2	理工A102	①	専	学環時間割コード: UC04028
		1	H220011	ライフサイクルアセスメントⅠ	本藤 祐樹	第1ターム	水	2	総S511	①	専	
1		H220052	ライフサイクルアセスメントⅡ	本藤 祐樹	第2ターム	水	2	総S511	①	専		
1		H220434	社会老年学Ⅰ	安藤 孝敏	第4ターム	月	2	総S511	①	専	学環時間割コード: UC11029	
1		H220465	社会老年学Ⅱ	安藤 孝敏	第5ターム	月	2	総S511	①	専	学環時間割コード: UC11030	
1		H320115	外来生物問題を解決するモデルと社会	小池 文人	第5ターム	木	4	1-301	①	専	学環時間割コード: UC04027	
都市イノベーション		2	RC00041	都市居住環境論	野原 卓、他	秋期(第4.5)	水	1	教室調整中/対面	①	専	学環時間割コード: UC07007
		2	RC00061	越境社会と地域	長谷川 健治	秋期(第4.5)	木	5	教室調整中/対面	①	専	学環時間割コード: UC12016、UC12017
		2	RC00051	グリーンビルディング・コミュニティ計画論	佐土原 聡、他	秋期(第4.5)	木(隔週)	5~6	教室調整中/対面	③	専	学環時間割コード: UC07009
		2	RB00031	地域計画論	松行 美帆子	春期(第1.2)	水	2	教室調整中/対面	①	専	R2年度以降入学者対象(旧科目: RB00214)
		2	RB00214	地域計画論	松行 美帆子	春期(第1.2)	水	2	教室調整中/対面	①	専	H31/R1年度以前入学者対象(新科目: RB00031)
	2	RB00204	途上地域発展論	藤掛 洋子	秋期(第4.5)	水	4	双方のライブ配信	①	専	担当教員 奇数年度: 佐藤、偶数年度: 藤掛/学環時間割コード: UC09033	
	2	RB00015	都市基盤政策論	(新任)	春期(第1.2)	金	1	教室調整中/対面	①	専	R3年度以前入学者対象/学環時間割コード: UC07006	
	2	RB00033	都市交通計画論	(新任)	春期(第1.2)	金	1	教室調整中/対面	①	専	R4入学者より	
	4	RPSJ205	環境都市デザインスタジオS	野原 卓、他	春期(第1.2)	火・金	3~4	教室調整中/対面	③	実	学環時間割コード: UC07019	
	4	RPSJ203	建築理論スタジオS	大野 敏、他	春期(第1.2)	火・金	3~4	教室調整中/対面	③	実	学環時間割コード: UC07024	
	4	RPSJ204	建築理論スタジオF	大野 敏、他	秋期(第4.5)	火・金	3~4	教室調整中/対面	③	実	学環時間割コード: UC07025	
	2	RPSJ225	都市基盤スタジオ2	前川 宏一、他	春期(第1.2)	火	6	教員室/対面	③	実	H30年度以降入学者対象	
	2	RPSJ226	都市基盤スタジオ2	前川 宏一、他	秋期(第4.5)	火	6	教員室/対面	0	実	H30年度以降入学者対象	
	4	RPSJ223	都市基盤スタジオ4	前川 宏一、他	春期(第1.2)	火	6	教員室/対面	③	実	H30年度以降入学者対象	
	4	RPSJ224	都市基盤スタジオ4	前川 宏一、他	秋期(第4.5)	火	6	教員室/対面	0	実	H30年度以降入学者対象	

※1: 独自に参画するボランティアや学部生向けの地域交流科目「地域課題実習」のプロジェクトのマネジメント等の実践性の高い活動については、審査の上、当プログラムのみ独自認定(2単位相当)する。ただし、正規単位ではない。